

・派遣人数 のべ1,040人・日

- 九州を中心に西日本で記録的な大雨や暴風となり、9月15日の降り始めからの総雨量は、複数地点で500ミリを超えるなど、平年値の2倍前後の降雨となった。この影響で、宮崎、熊本県内で道路被災による孤立が多数発生したほか、土砂崩れや浸水等の被害が発生した。
- 北海道、東北、関東、北陸、中部、近畿、中国、九州地方の**1道2府31県33市町村**へ**TEC-FORCE**を派遣。
リエゾン活動、気象情報の提供(JETT)、被災状況調査、応急対策活動などの自治体支援を実施。(一日あたり最大121人9/19)
- 九州地方整備局から派遣したTEC-FORCEが、**宮崎、熊本県内の椎葉村、西米良村、諸塚村、錦町で被災状況調査等**を実施。

■リエゾン、JETTによる情報支援等

○リエゾンによる自治体から支援ニーズの聞き取り、支援内容の調整、JETTによる気象情報の提供等を実施



県内の被災状況を聞き取り(宮崎県庁)



自治体に気象情報を提供(佐賀県庁)



自治体と支援内容の調整(宮崎県西米良村)

■専門家による技術指導

○県管理道路の被災に対し応急措置及び復旧方針等の指導を実施



県管理道路の高度技術指導(宮崎県諸塚村)

■自治体が管理する公共施設の被災状況調査

○ドローン等を活用し道路や河川等の公共施設の損壊箇所を調査し、結果を自治体へ報告



ドローンでの被災箇所確認(宮崎県諸塚村)



ドローン映像の共有(宮崎県西米良村)



道路の被災状況調査(宮崎県椎葉村)



河川施設の被災状況調査(宮崎県西米良村)